

令和8年1月15日(木)に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には18名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについての講義があったのち、グループに分かれて「若い世代や女性が活躍する町内会へ～多様な方の参画を促すためのアプローチ方法～」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和8年1月15日(木) 14:00～16:30

場所：泉区役所 参加者：18名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ



■ 講義

講師の(株)KITABA 酒本宏氏から、若い世代や女性など多様な住民が町内会活動に参加しやすくなるアプローチ方法について効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、4グループに分かれ、年間カレンダーを作成しそれぞれの取組に参加している年代や属性を考え、偏りがなければ確認しました。その後、多様な世代が参加できる取組について意見交換を行いました。※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

●多世代が参加できる行事・居場所づくりを進める

- ・ こどもから高齢者まで参加できるイベントを企画する
- ・ 集会所を活用し、月1回のカフェや語ろう会などの居場所づくりを行う
- ・ スポーツイベント（モルック、グラウンドゴルフ等）を通じた交流を図る

●若い世代・女性が関われる仕組みをつくる

- ・ 若い世代や女性が中心となって企画・運営する体制づくりが重要
- ・ 役員以外の住民を企画委員として迎え入れる
- ・ こどもが参加できるイベントをきっかけに、親世代の参加につなげる

●サポーター制度の活用を進める

- ・ ボランティアやサポーターによる運営体制を検討する
- ・ サポーター制度を通じて、将来的な担い手の発掘につなげる

●デジタル化と情報発信を進める

- ・ 若い世代に向けた情報発信手段として、デジタル化を進める
- ・ 高齢者向けにスマートフォン勉強会を開催する
- ・ 回覧板のデジタル化やインスタグラムでの情報発信を検討する

●防災・地域活動と連携した取組を進める

- ・ 防災訓練への中学生の参加や組織化が必要
- ・ 防災訓練と交流イベント（芋煮会等）を組み合わせる
- ・ 地域活動を通じて、若い世代の地域への愛着を育む

グループごとの意見・アイデア

ワークショップでは、多世代交流につながる行事や居場所づくりに関する意見が多く出されました。若い世代や女性が企画・運営に関われる体制づくりや、サポーター制度、デジタル化を組み合わせた取組の必要性が示されました。

グループ1

- 若い世代や女性が活躍できる組織づくりを進める
- 防災訓練への中学生参加や組織化を検討する
- 若い世代が企画を担うイベント広場や行事を実施する
- 夏まつりや芋煮会、防災訓練などを通じた交流を行う

グループ2

- 集会所を月1回開放し、誰でも参加できる居場所をつくる
- ウォーキングスタンプラリーなど、健康をテーマにした企画を実施する
- 親子コンサートやクリスマス会など、多世代参加型イベントを行う

グループ3

- こどもから高齢者まで参加できるスポーツイベントを行う
- こどもの居場所づくりを進め、親世代の参加につなげる
- スマホ教室を開催し、デジタル化を進める

グループ4

- スポーツ大会やマルシェ、フリーマーケットを企画する
- 定期的な茶話会やカフェを開催する
- 若者や子育て世代が参加しやすいイベントづくりを検討する

